

1型のつどい in 国立 ご報告



2015年3月14日(金)15:00より 当院2Fスペースフィオーレにて

『1型のつどい in 国立 ～ インスリンポンプ ～』を開催しました。

お忙しい年度末にも関わらず、患者さん17名、スタッフ6名
計23名参加していただきました。たくさんのご参加
ありがとうございました。



今回の1型のつどいのテーマは『インスリンポンプ』でした。2/18にメドトロニック社からミニメド620Gという新しいインスリンポンプが発売されたこともあり、このテーマにしました。インスリンポンプを付けている人もつけていない人も参加していただき、インスリンポンプ療法について様々な点からご紹介しました。

頻回注射療法とインスリンポンプ療法との違い、ポンプの良い点・悪い点、インスリンポンプの機種、新たなポンプのポイントをお話しました。現在、一番使用されているメドトロニック社のパラダイムインスリンポンプ712と722の使用者の声を元に、インスリンポンプの良いところ『とにかく楽』注射手技・インスリン調整・血糖コントロールがらくになったという感想や、インスリンポンプの悪いところ『とにかく高い』医療費が高い・機械や手技上、医療側の問題についての感想を紹介させていただきました。また、TOP社から出ているTOP-8200の特徴についても紹介しました。

また、今回紹介した新しいインスリンポンプ620Gは日本語表記・カラー画面となり、持続血糖測定器と連動可能なものになりました。持続血糖測定器とは24時間の血糖が連続的に測定できる器械です。



インスリンポンプとともに装着しておく、現在の血糖値がポンプの画面に表示されるしくみになっています。夢のような機械と思われそうですが、表示されている値は較正が必要な値であるため自己血糖測定は必須、2カ所刺す必要がある、金額がさらに増額になる、インスリン自動調整はないので自分で調整が必要、とやはり万能ではないこともお話ししました。

その後、各テーブルで3種のインスリンポンプを触ったり、ポンプ未使用な患者さんは取り付けを体験したり、ポンプ使用中の患者さんから話を聞いたりしていただきました。



今回は参加していただいたインスリンポンプ使用者さんの協力のおかげで、インスリンポンプのホントのところが詰まった会ができたのではないかと感じております。

ご協力ありがとうございました。次回も1型の皆さんよりご意見をいただきながら、会を企画・運営していこうと考えております。ぜひまた、ご意見お聞かせ下さい。

クリニックみらい国立 看護師 福嶋